

かわさきグリーンイノベーションフォーラム

# 持続可能性

## を追求する時代の企業と自治体

### ～SDGsとESG金融から読むこれからの民と官の関係～

2015年9月に開催された持続可能な開発サミットにおいて、国連加盟国により持続可能な開発目標(SDGs)を含む「持続可能な開発に向けた2030アジェンダ」が採択されました。グローバル化や都市化の進展、原材料や天然資源をめぐる競争の激化など、ビジネスモデルの根幹を揺るがす事態に直面するなか、日本でも「責任ある投資家」の諸原則が発表されるとともに、世界最大の年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が国連責任投資原則(PRI)に署名するなど、企業を取り巻く環境が大きく変化しています。

こうした中、企業と自治体を中心とした地域レベルのSDGsの取組が求められています。今回のセミナーでは、持続可能な社会の実現を目指す1,750以上の自治体で構成された国際ネットワークにおいて日本事務所の事務局長を務められる内田東吾さんをお迎えし、「持続可能性」をキーワードに、SDGsとESG金融から読み解く新たな官民連携のあり方について講演いただきます。



内田 東吾

イクレイ日本 事務局長

2006年5月に国際協力銀行(JBIC)に入行。専門調査員として世界銀行、アジア開発銀行などの国際機関のほか、韓国・中国・タイなどの援助機関との連携業務に携わる。2009年4月から国際協力機構(JICA)の企画調査員としてタイに3年、カンボジアに5年勤務。環境・気候変動分野の国際協力事業を担当し、環境公害対策、気候変動対策のほか、都市の環境インフラ支援事業に従事。2017年7月に(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)に入所、ASEAN各国都市のSDGs推進事業を担当。2018年7月より現職。



2019

11月13日 水

15:50～16:30

カルッツかわさき 1階第4大会議室

神奈川県川崎市川崎区富士見1丁目1-4

入場無料 一般公開



#### 【会場へのアクセス】



電車：JR川崎駅・京急川崎駅より徒歩15分  
バス：川崎駅東口バスターミナルより乗車5分  
「教育文化会館前」下車

お申し込みは以下のURL、またはQRコードよりお願いします。

<https://www.kawasaki-eco-tech.jp/>

